

# 環境報告書

(報告期間：2023年10月～2024年9月)



作成日 2025年 1月 15日

**NE** 日本衛生株式会社

表紙	.....	P1
目次	.....	P2
1 事業概要	.....	P3
2 許認可取得状況	.....	P4
3 (1)～(2) 施設の状況等 (中間処理・積替え保管)	.....	P5
(3) 施設の状況等 (運搬車両の種類と台数/低燃費車・低排出ガス車導入状況)	.....	P6
(4) -1 施設の状況等 (処理工程図/本社工場)	.....	P7
(4) -2 施設の状況等 (処理工程図/リサイクルサポートセンター)	.....	P8
4 処理施設のご紹介 (1) 本社・工場	.....	P9
処理施設のご紹介 (2) リサイクルサポートセンター	.....	P10
5 環境マネジメントシステム組織体制	.....	P11
6 環境方針	.....	P12
7 環境目標とその実績	.....	P13
8 主要な環境経営計画の内容と評価	.....	P14
9 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反及び 訴訟等の有無	.....	P15
10 環境・社会貢献活動への取り組み	.....	P16



## 1. 事業概要

### (1) 事業社名及び氏名

事業者名：日本衛生株式会社  
 代表者：代表取締役社長 津山 幸太

### (2) 所在地

No.	名称	所在地
1	本社/工場	東京都足立区入谷9-30-10
2	リサイクルサポートセンター	東京都足立区入谷9-7-9
3	第二事業所	東京都足立区入谷9-7-6

### (3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：取締役 澤谷 勇一  
 連絡先：03-3853-6061 / e-mail: yuichi-sawaya@nihon-eisei.co.jp

### (4) 事業活動の概要

- ・医療系廃棄物の収集処分
- ・事業系一般廃棄物の収集処分
- ・産業廃棄物の収集運搬
- ・廃棄物の再生資源化事業

### (5) 事業の規模

No.	項目	内容
1	法人設立日	昭和60年10月8日
2	資本金	10,000,000円
3	売上高	1,180,915千円（令和6年9月期）
4	従業員	49人
5	事業場の延床面積	本社・工場：1,110 m <sup>2</sup>
		リサイクルサポートセンター：1,021 m <sup>2</sup>
		第二事業所：110 m <sup>2</sup>
6	産業廃棄物処理量 (令和6年4月～令和7年3月)	収集運搬量：441 t
		中間処理量：441 t



### 3. 施設の状況等（中間処理・積替え保管）

#### (1) -1 中間処理施設（本社工場）※産業廃棄物、一般廃棄物

処理方法	廃棄物の種類		処理能力	
			単独	混合
焼却	産業廃棄物	動植物性残渣	-	11.4 (t/日)
		ゴムくず	-	
		金属くず	-	
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	-	
	特別管理産業廃棄物	感染性産業廃棄物	7.69 (t/日)	-
	一般廃棄物	普通ごみ	-	11.4 (t/日)
医療廃棄物		-		

#### (1) -2 中間処理施設（リサイクルサポートセンター）※産業廃棄物

処理方法 (設置年月日)	廃棄物の種類		処理能力	
			単独	混合
破砕	廃プラスチック類		4.79 (t/日)	-
破砕 ※水銀使用製品産業廃棄物 (廃蛍光灯)に限る	廃プラスチック類		14,400 (本/日)	-
	金属くず			
	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず			
破砕 ※空き瓶に限る	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		8.0 (t/日)	-
圧縮梱包（2台）	廃プラスチック類		14.7 (t/日) 1.68 (t/日)	
圧縮（3台） ※空き缶に限る	金属くず		28.9 (t/日)	-

#### (2) -1 積替え保管施設（リサイクルサポートセンター）

積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
1021.93㎡	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	コンテナ 3台 (24.0㎡)
	最大保管高さ：1.46m	合計保管量 24.0㎡

#### (2) -2 積替え保管施設（第2事業所）

積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
792㎡	汚泥	ドラム缶 3本 (0.6㎡)
	廃油	400ℓタンク 1個 (0.4㎡)
	廃酸	ドラム缶 3本 (0.6㎡)
	廃アルカリ	ドラム缶 3本 (0.6㎡)
	廃プラスチック類（ペットボトルを除く）	コンテナ 2台 (32.0㎡)
	木くず	コンテナ 2台 (32.0㎡)
	金属くず（空缶を除く）	コンテナ 3台 (32.0㎡)
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	コンテナ 3台 (32.0㎡)
	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃蛍光灯〈水銀使用製品産業廃棄物〉に限る）	ポリ容器 15個 (4.03㎡)
	最大保管高さ：2.02m	合計保管量 134.2㎡

### (3) 運搬車両の種類と台数



#### 1.【運搬車両／全22台】令和7年6月30日現在

No.	種別	車両形式	最大積載量(kg)	車両寸法 全長×全幅×全高(cm)	台数	備考
1	大型	14tウイング車	13900kg	11990×2490×3790	1	
2	中型	4t塵芥車	1650kg	7130×2200×2850	2	
3	中型	4tコンテナ車	3650kg	6040×2190×2430	6	
4	中型	2tキャブオーバ	2000kg	5980×1890×2070	3	
5	中型	3tキャブオーバ	3000kg	6860×2080×2150	3	
6	中型	4tキャブオーバ	2950kg	8300×2280×3560	3	
7	中型	3t保冷車	3000kg	6470×2240×2960	3	
8	小型	1t保冷車	1250kg	4690×1690×1990	1	
					22	全車適合 (Nox、PM適合車)

#### 2.【運搬車両に係る低燃費車の導入状況】

運搬車の排ガスレベル	台数	割合
全保有台数	18	100.0%
平成17年度燃費基準達成車	0	0.0%
平成22年度燃費基準達成車	0	0.0%
平成27年度燃費基準達成車	13	72.2%

【低燃費車の導入目標】  
令和9年3月末までに、平成17年基準低排出ガス重量車の占める割合を全保有台数の80%以上とする

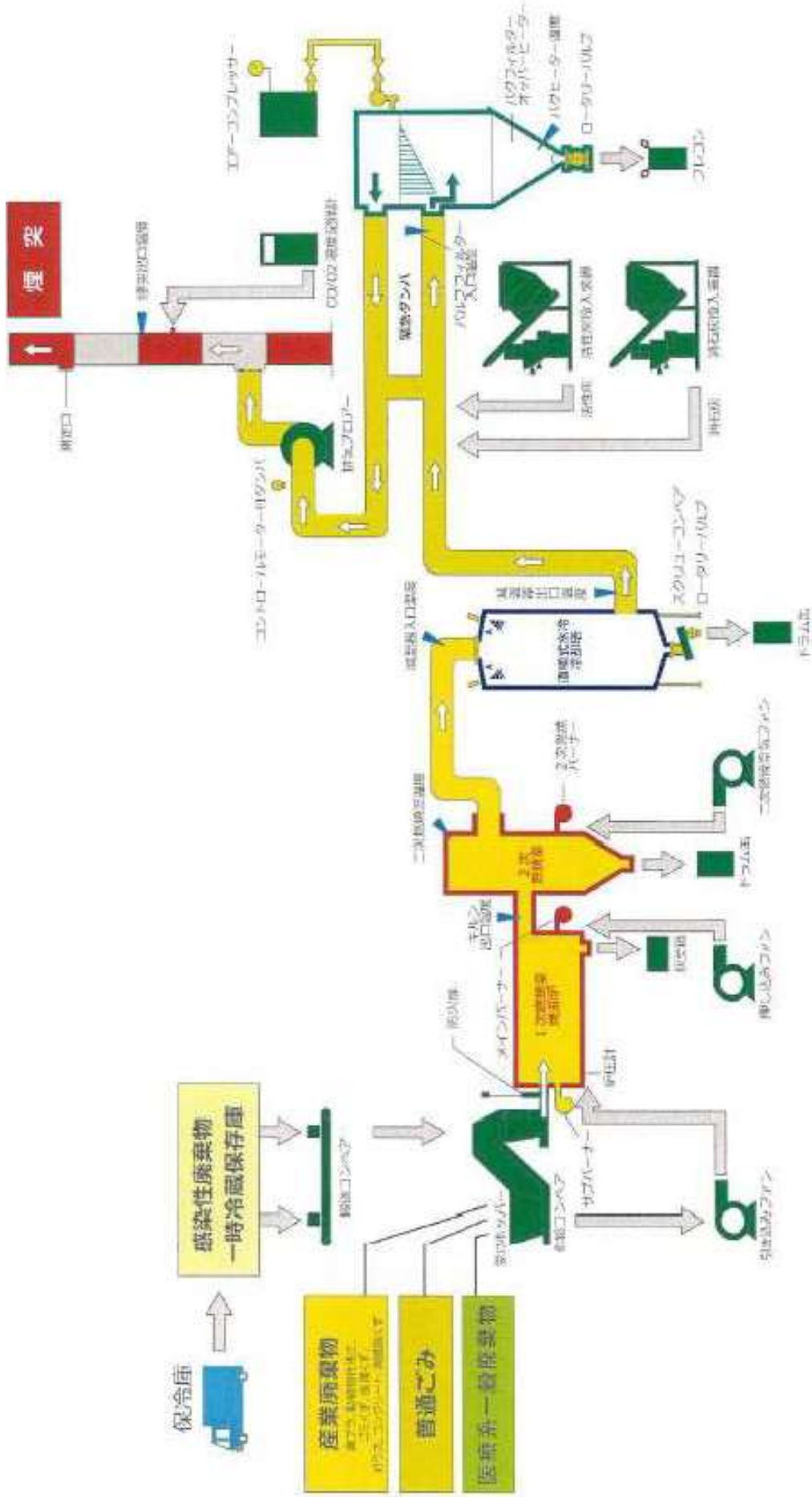
#### 3.【運搬車両に係る低排出ガス車の導入状況】

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合
全保有台数	1	100.0%
平成17年基準低排出ガス重量車★	0	0.0%
平成17年基準低排出ガス重量車☆	0	0.0%
	0	0.0%

【低排出ガス車の導入目標】  
2028年3月末までに、低排出ガス車の占める割合を全保有台数の100%とする

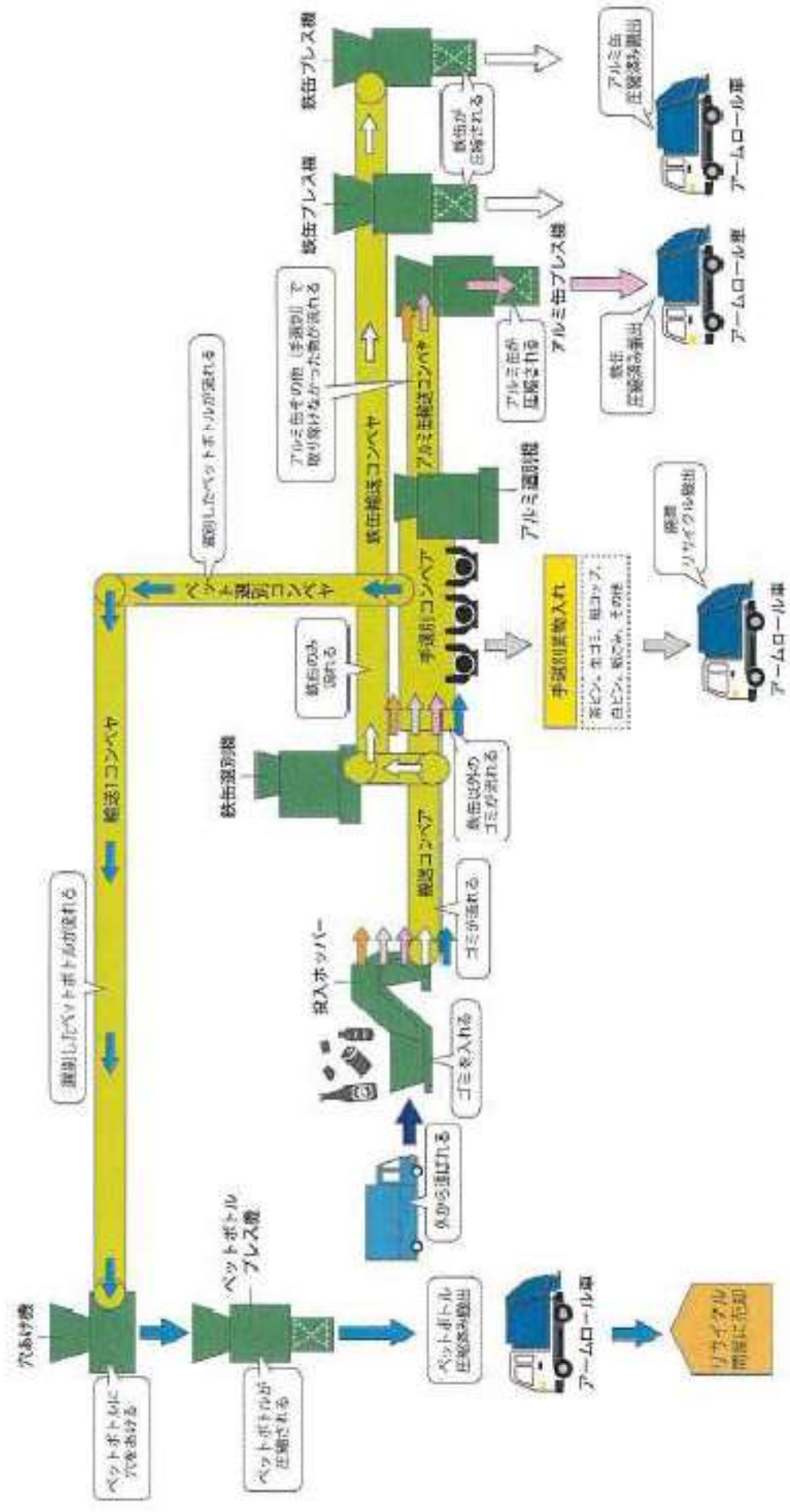
3. 施設の状況等（収集運搬・処理工程）

(4) -1 焼却施設（本社工場） 処理工程図



3. 施設の状況等（収集運搬・処理工程）

(4) -2 破砕、圧縮梱包施設（リサイクルサポートセンター） 処理工程図



## 4. 処理施設のご紹介

### (1) 【本社・工場】



【本社工場】



【許可看板/処分業許可】



【受入廃棄物〈感染性廃棄物〉】



【焼却施設〈トロンメル〉】



【焼却施設〈トロンメル〉】



【燃え殻保管場所】



【トラックスケール】



【保管倉庫〈医療廃棄物専用容器〉】

## 4. 処理施設のご紹介

### (2) 【リサイクルサポートセンター】



【施設外観】



【許可看板/積み替え保管施設】



【搬送用コンベア】



【圧縮梱包機】



【選別作業場】



【圧縮梱包機】

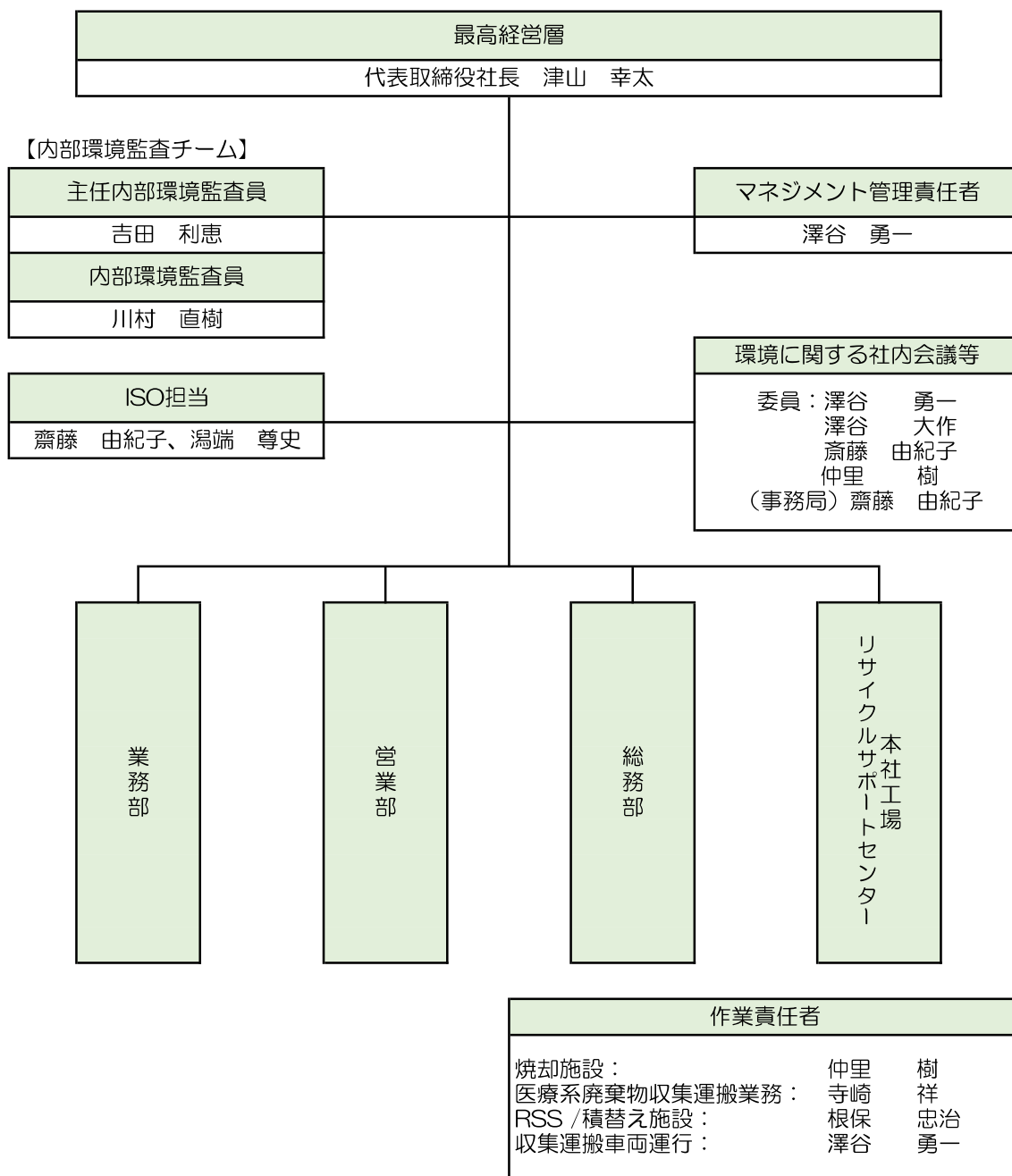


【アルミセパレータ】



【再資源化されたペットボトル】

## 5.環境マネジメントシステム組織体制



役職	氏名
交通労働災害防止担当管理者/安全運転管理者（総括）/個人情報管理責任者	澤谷 勇一
安全運転管理者	【正】澤谷 大作 【副】菱沼 彰一
安全衛生推進者	【総括責任者】澤谷 勇一、【焼却施設担当】仲里 樹 【RSS / 積替え施設担当】 【本社/事務部門】齋藤 由紀子
防火管理責任者	【総括責任者】澤谷 勇一、【焼却施設担当】仲里 樹 【RSS / 積替え施設担当】
緊急事態対応総括管理責任者	澤谷 勇一
緊急事態対応現場責任者	【焼却施設】仲里 樹 【RSS / 積替え施設】

---

---

## 日本衛生株式会社 環境方針

廃棄物の収集運搬と中間処理に関わる事業を営む日本衛生株式会社は廃棄物の流れをクリアにし、排出事業所のニーズにこたえらるとともに循環型社会に貢献することを第一とします

- 1 廃棄物処理に関わる環境負荷低減に徹し、環境汚染の未然防止と環境保護に積極的に取り組み、様々なステークホルダーの期待に応える事業活動を推進します
- 2 収集運搬時の飛散流出や交通災害防止のため、運行管理を徹底した実効性のある目的を設定し、実行します
- 3 中間処理施設からの大気汚染、悪臭、騒音、振動の発生を抑制し、回収した廃棄物の再資源化に努めます
- 4 脱炭酸社会に向けて、事業活動における省資源、省エネルギーの徹底に努めるとともに、CO2排出量の削減に適合した廃棄物システム及び収集運搬サービスの提供に努めます
- 5 環境に関連する適用可能な事実上の法的規制、並びに契約上の義務を遵守します
- 6 環境パフォーマンスを向上させるために、環境マネジメントシステムの定期的見直しにより、継続的改善を図ります
- 7 全従業員の環境意識や技術の向上に努め、お客様の満足と信頼を獲得するとともに、利害関係者の良好なコミュニケーションを通じ、地域の生活環境に貢献します

2023年8月1日

日本衛生株式会社

代表取締役 津山 幸太

## 7.環境目標とその実績

### (1) 2024年度実績（期間：2023年10月～2024年9月）

		基準年	2023年度			
項目	単位	2022年度	目標	実績	評価	備考
【収集運搬部門】 軽油使用量の削減	ℓ	189,010	187,120 <small>(基準年1%減)</small>	178,661	◎	
【収集運搬部門】 交通事故発生ゼロ	件	0	0	0	◎	
【中間処理／本社工場（焼却施設） 電気使用量の削減	kWh	651,046	644,535 <small>(基準年1%減)</small>	638,510	◎	
【中間処理／本社工場（焼却施設） 不具合による焼却炉停止日ゼロ	件	0	0	0	◎	
【中間処理／リサイクルサポートセンター】 電気使用量の削減	kWh	79,466	78,671 <small>(基準年1%減)</small>	86,526	×	
【中間処理／リサイクルサポートセンター】 不具合による施設停止日ゼロ	件	0	0	0	◎	

### (2) 中期目標（期間：2023年度～2025年度）

		基準年	目標			備考
項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
【収集運搬部門】 軽油使用量の削減	ℓ	189,010	187,120 <small>(基準年1%減)</small>	185,230 <small>(基準年2%減)</small>	183,340 <small>(基準年3%減)</small>	
【収集運搬部門】 交通事故発生ゼロ	件	0	0	0	0	
【中間処理／本社工場（焼却施設） 電気使用量の削減	kWh	651,046	644,535 <small>(基準年1%減)</small>	638,025 <small>(基準年2%減)</small>	631,514 <small>(基準年3%減)</small>	
【中間処理／本社工場（焼却施設） 不具合による焼却炉停止日ゼロ	件	0	0	0	0	
【中間処理／リサイクルサポートセンター】 電気使用量の削減	kWh	79,466	78,671 <small>(基準年1%減)</small>	77,876 <small>(基準年2%減)</small>	77,082 <small>(基準年3%減)</small>	
【中間処理／リサイクルサポートセンター】 不具合による施設停止日ゼロ	件	0	0	0	0	

## 8. 主要な環境経営計画の内容と評価

### 2023年度目標とその実績についての計画と評価

取組項目	達成状況	評価 (結果と今後の方向性)
<b>【収集運搬部門】軽油使用量の削減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ10のすすめの実施</li> <li>・各車両毎の燃費を月毎に算出</li> <li>・アイドリングストップ</li> <li>・低燃費車両の活用</li> </ul>	目標：187,120ℓ/年 実績：178,661ℓ/年	◎ 目標達成。 ドライバーに対するエコドライブの実践指導、社内教育など、地道な取組みの効果が表れた結果と考える。今後も継続して教育・指導を推進したい。
<b>【収集運搬部門】交通事故発生ゼロ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内教育（運転技能講習）の実施</li> <li>・ドライバーミーティング開催</li> </ul>	目標：0件/年 実績：0件/年	◎ 目標達成。 社内教育、ミーティングでの地道な指導の効果が表れた結果と考える。今後も継続して教育・指導を推進したい。
<b>【中間処理/本社工場（焼却施設）電気使用量の削減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネシールを活用し節電を促す</li> <li>・無駄な電気は消す（退室時・昼休み）</li> <li>・空調温度の適正化（冷房28℃前後、暖房20℃前後）</li> </ul>	目標：644,535kWh 実績：638,510kWh	◎ 目標達成。 設備更新など、大きな取組みをしてはいないが、基本の徹底を推進したことが良い結果につながったと考える。
<b>【中間処理/本社工場（焼却施設）不具合による焼却炉停止日ゼロ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主定期点検の実施</li> <li>・施設運転管理者教育の実施</li> </ul>	目標：0件/年 実績：0件/年	◎ 目標達成。 定期点検・修繕の実施の確実な実施が結果として現れたと考える。今後も継続実施を進める。
<b>【中間処理/リサイクルサポートセンター】電気使用量の削減</b>	目標：78,671kWh 実績：86,526kWh	× 目標未達。 猛暑により、受入廃棄物（特にペットボトル等の飲料容器廃棄物）搬入量が増大したことによる施設稼働時間が大幅増加したことが要因と考える。今後の温暖化を踏まえ、目標設定の見直しを検討する。
<b>【中間処理/リサイクルサポートセンター】不具合による施設停止日ゼロ</b>	目標：0件/年 実績：0件/年	◎ 目標達成。 定期点検・修繕の実施の確実な実施が結果として現れたと考える。今後も継続実施を進める。

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらの違反はありませんでした。  
 なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

No.	環境関連法規	内 容	違反有無
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業許可証の有効期限確認	無し
		処分業許可証の有効期限確認	無し
		処分業設置許可の確認	無し
		処理施設技術管理者の確認	無し
		廃棄物保管基準（周囲に囲い、流出防止、掲示板）	無し
		収集運搬を行う場合の基準（許可番号等の表示）	無し
		委託基準、委託契約書の記載事項	無し
		契約書等保存期間	無し
		産業廃棄物管理票（マニフェスト）	無し
		電子マニフェスト	無し
		帳簿の記載、備付と保存	無し
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	無し
		実績報告書の提出	無し
		再委託の禁止	無し
		処理業者から処理困難の通知	無し
委託者への処理困難通知制度	無し		
2	騒音規制法	規制基準値を遵守する	無し
3	振動規制法	規制基準値を遵守する	無し
4	下水道法	規制基準値を遵守する	無し
5	自動車Nox-PM法	対象トラック等に除外装置への設置	無し
6	自動車リサイクル法	自動車リサイクル法に基づく引渡時の証明書等	無し
7	資源有効利用促進法	使用済みパソコンの廃棄確認	無し
8	家電リサイクル法	家電リサイクル法に基づく廃棄時の確認	無し
9	小型家電リサイクル法	小型家電リサイクル法に基づく廃棄時の確認	無し
10	グリーン購入法	物品の購入する時は出来る限り環境物品を購入	無し
11	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラ新法）	廃棄物（廃プラスチック）を排出する時は分別する	無し
		分別ボックスの設置	無し
		製品を丁寧に扱う	無し
12	消防法	消防用設備点検の確認等	無し
13	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（東京都環境確保条例）	工場認可を申請し、認可を受けている	無し
		エコカー導入を検討している（又は購入）	無し
		エコドライブの努力義務等	無し
14	足立区生活環境の保全に関する条例	5Sの徹底をする	無し
		処理施設周辺の清掃活動を行う（努力義務）	無し
		区の政策に積極的に協力する	無し
15	足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	分別の徹底・発生抑制の努力義務等	無し
		区の要請があった場合は積極的に対応する	無し

## 10.環境・社会貢献活動への取組み

### ◆ISO14001 認証取得

私どもの廃棄物処理事業は、環境問題と密着した関係にあります。弊社では平成15年12月15日、本社、焼却施設ならびにリサイクルサポートセンターにおいて、ISO14001の認証(環境マネジメントシステムの国際規格)を取得いたしました。

弊社では平成7年に焼却施設を設置して以来、近隣の方々との対話を続けるとともに情報提供を行い、皆様方のご協力を得て、廃棄物処理に取り組んでまいりました。この認証取得をステップアップとして「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」を遵守して業務にあたるよう、環境マネジメントシステムの社員定期教育にて計画的に教育・指導し、さらなる安全運転の励行に全力を注ぎ、引き続き信頼性の高い施設運営を目指してまいります。

適用規格：JIS Q 14001:2015(ISO14001：2015)  
 登録番号：E03-362  
 登録者：日本衛生株式会社  
 登録範囲：本社・焼却施設・リサイクルサポートセンター  
 認証団体：一般財団法人 電気安全環境研究所



### ◆焼却施設の稼働状況を公開

弊社では、近隣の方々が安心していただけるよう外部表示機を設置し、焼却状況をリアルタイムで公開しております。



【表示器（炉内温度、一酸化窒素）】

### ◆SDGsの取組み

サステナブルな社会を実現するためにSDGsの達成に貢献します。そして、持続可能な経済社会を次世代に引き継ぐため、下記活動をさらに推し進めます。

